

日本と中国のテーブルマナーの比較

(Comparison of table manner in Japan and China)

ハルキ*チョウ

Zuyi (Haruki) Zhang

82-271 Intermediate Japanese I

私は中国人であり、中国のことわざの一つ、「民には、食事が天であり」を好きて、今回のトピックは、テーブルマナーにしよう。テーブルマナーは大事だということは、どの国でも変わらない。それから、私はまだ日本に行ったことがないけど、日本の食べ物がとても気に入って、いつか本当の日本料理を元の土地で食べたい。だから、日本と中国のテーブルマナーをもっと調べて、比較してから、結果を日本に行きたい外国人、特に中国人に参考としてあげたいと思う。

日本のテーブルマナーを調べた後で、四つの面白いことを見つけた。まずは、日本ではご飯を食べる前に、「いただきます」と言って、食べた後で、「ごちそうさまでした」と言う。それで、「いただきます」を言いながら、両手を合って、顎の下に置いて、ちょっと食べ物におじぎをする。二つ目は、日本人の友達の武田さんによると、日本では家でご飯を食べる時、家族全員がそろった前に食べてはいけないそう。また、同じ人は、「料理がそろった後で食べることは普通だ」と言ってくれた。さらに、家で食事をする時食べる順番がないけ

ど、ビジネスの場合には、必ず偉い人が先に食べることになっている。家にお客さんが来ると、年に関係なく、そのお客さんが先に食べさせることが大切だ。三つ目は、普通は物を食べながら音をあまり出ない。しかし、ラーメンを食べる時、「スースー」のような音が出すほうがいい。そうすると、料理人に「私はこのラーメンがおいしいと思う」という意見を伝えることができる。最後に、食べる時、できるだけ食べなければならない。もし食べ物が残ってしまったら、相手に失礼してしまう。だから、家でも外でもかかわらず、みんなは自分が食べられる量しか頼んでない。

中国のテーブルマナーは日本と大体同じだが、前に書いた四つのことについて違うこともある。最初は、中国人は食べる前に何も言わなくても構わないし、日本人のような特別なジェスチャーをしない。食べた後で、「もうお腹がいっぱい」と言う人はいるけど、決まりことではない。次に、中国人は家でご飯を食べる時、料理を作っているながら食事をするから、料理がそろった前に食べると大丈夫だし、全員がそろった後で食べることになっていない。でも、必ず自分より年上の人が先に食べることはとても大事だ。ビジネスやお客さんを招待するなどの場合には、日本と同じく、すべての人と料理がそろった後で食べて、偉い人とお客さんに先に食べさせることになっている。さらに、中国では食事をする時、ラーメンだけじゃなく、どんなものを食べてながら音を出してもいい。中国人にとって、食事は盛り上げるのが良くて、声が大きければ大きいほどよいと思っている。でも、最近、西洋からの影響を与えられて、その考え方は少しずつ変えていく。最後に、中国の家族にとって、食べ物を

残すのは料理人に失礼だ。しかし、外でお客さんを招待する時、いつもホストのほうが料理を頼むのを任せられて、お客さんが食べられる量より多い料理を頼んでいる。

私の意見では、日本人は食事をする前に儀式のようなことがあるのは、昔からの習慣で、代々継いできたと考える。昔、日本は中国と同じく、農業国家であり、食料をたくさん作ることができなかった。だから、二つの国では食事を大事にする。スピーキングアシスタントの増田さんは、日本人は色々な神を信じて、よく食事の前に神に祈ると言ってくれた。その祈るジェスチャーは、普通になって、だんだん習慣になっただろう。ところが、一般の中国人はどんな神も信じなくて、祈ることもしない。よって、中国人は食べ物が出た後で、日本人のような儀式をしなくなる。

そうかと言って、中国には食事の礼儀がないと言うわけではない。中国は日本と同じく、目上と目下の関係は大事で、年上と年下の関係も大事だ。だから、家族の間に年上の人が偉くて、先に食べるほうがいいと思っている。二つの国では、お客さんを招待する時、いつもと違い、丁寧に招待する。それは、相手に「この人は礼儀を知っている」と思われたくて、「これからよろしく」と言う気持ちを伝えるためだろう。また、日本には料理を作っていないがら食事をしない。日本人はそうすると料理人にとって失礼だと思うけど、中国の料理人にとって、とても嬉しいことだ。「美味しすぎて、もう我慢できない」のような意見を先に食べることで料理人に伝えられる。

私はアメリカに来たから、「中国人はレストランでテーブルマナーがない」のような記事

や議論をたくさん聞いた。メキシコ人とアメリカ人の友達と中華料理屋に行ったことがあって、「うるさくてたまらない」の苦情を言われた。日本人ゲストの安原さんによると、日本人は和式レストランに食事をする時、声をちょっと出すけど、中国人ほど大きくない。その原因を考えると、日本は中国と西洋、両方の影響を受けて、盛り上げるのが欲しいけど、隣の人に迷惑をかけないように食事をするようになると思う。中国の影響と日本の状況によって、食べ物を残さないように食事をするようになった。中国人は昔から社会関係がとても大事だと思い、みんなと仲良くしたい。そのために、大きい声で食事を盛り上げたり、お客さんが食べられる量より多い料理を頼んだりする。でも、日本は中国より深く、早く西洋の影響を受けた。その原因で、日本のテーブルマナーは、西洋ともっと似ていると思う。

私の意見では、国のテーブルマナーは、国の状況と他の国からの影響によって違う。それに、テーブルマナーは色んな習慣と同じく、変わらないわけではない。海外へ行く時、行く先の習慣を調べて、従うべきだと考える。「郷に入れば郷に従え」と言うことわざがあって、他の国の習慣を尊重し、理解する。最後に、日本と中国は二つの国であり、特別なテーブルマナーを持っている。日本、また中国に行きたい外国人は、二つの国でおいしいものを食べながら、この文に書いてある習慣に気をつけるほうが良いと思う。